

白馬中とHIS 合同授業で宇宙船制作



白馬中とHISの生徒が協力して課題解決に取り組んだ

11月26日（土）大糸タイムス記事より



「火星に無事着陸せよ」

生徒同士の交流や理解を深めようと、白馬村の白馬中学校と白馬インターナショナルスクール（HIS）は25日、合同授業を実施した。HISが行うプロジェクト型学習（PBL）、課題に対し生徒自ら解決法を考え取り組む学習）の体験として

「火星に無事着陸できる宇宙船」の制作に挑戦。協力してアイデアを出し合い、課題解決に取り組んだ。

合同授業は初めての試みで、仲間と協力して課題に挑戦することで環境問題やSDGs

などに対し自主的に考え実行する力を育み、持続可能な社会の担い手育成につなげようとする。白馬中2年生44人とHISの生徒18人、職員らが参加した。15班に分かれ、英語を交えて自己紹介。宇宙船は「高い場所から

落とす」か「高い場所から落とす」か、という課題で、紙コップや緩衝材、新聞紙、ストローなどを使い、デ

ザインや衝撃を吸収する方法を考えた。完成した宇宙船を3階から1階に落とし、無事着陸すると大きな拍手が巻き起こった。

白馬中の清宮蒼真さん（13）は「みんなと協力し、いつもとは違う想像を働かせることができた」とPBLを通じて学んだ。HISの國光佳深さん（14）は「違う学校で新しい人と活動できた。友達も増えてやって良かった」と交流を深めた。

白馬中の浅原昭久校長は「HISのPBLを体験し、仲間と協力して課題にチャレンジすることを大切にしたい。それがSDGsやCO2削減などより発展した課題にチャレンジする力になる」と期待した。